

Extic × Knowledge Suite SSO 設定

操作マニュアル

2024 年 7 月 25 日

ブルーテック株式会社

目次

■1 Extic と Knowledge Suite の SSO 連携の流れ	2
■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)	3
■3 SSO 設定 (Knowledge Suite)	6
■4 Knowledge Suite との SSO 許可 (Extic)	9
■5 Knowledge Suite に SSO ログインする	10
■6 JIT 連携について	17

■ 1 Extic と Knowledge Suite の SSO 連携の流れ

Extic と Knowledge Suite を SSO 連携するためには、以下の設定が必要です。

STEP1 Extic 側で「シングルサインオン (SAML)」の設定を行う



STEP2 Knowledge Suite 側で SSO 設定をする



STEP3 Extic 側でユーザーに Knowledge Suite との SSO 連携の許可を行う

Knowledge Suite に別途ご利用ユーザーのアカウント登録が必要です。

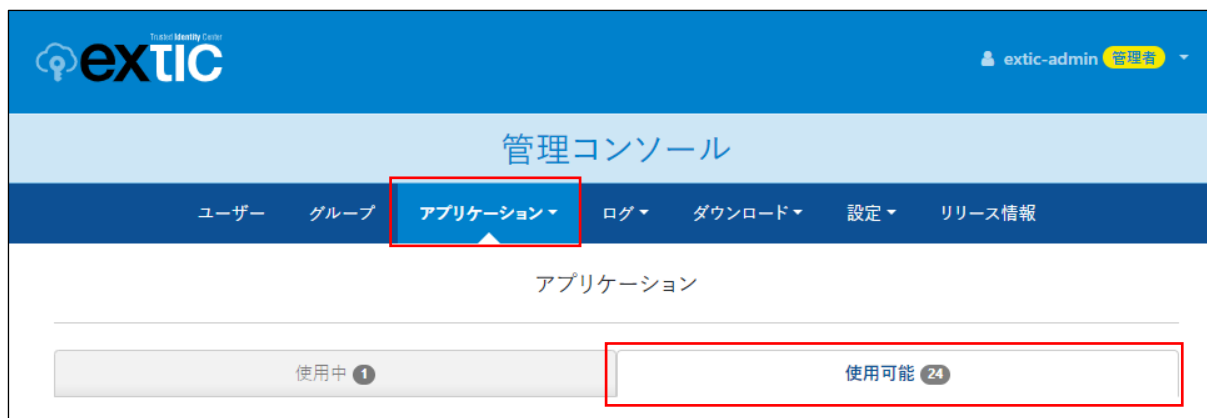
ただし、Just In Time (以下、JIT) プロビジョニング^{*1}を使用する場合、Knowledge Suite でのアカウントの事前登録は不要です。JIT プロビジョニングの利用設定について詳細は第 4 章「プロビジョニングの利用設定」をご参照ください。

^{*1} JIT プロビジョニングを使用すると、Extic から Knowledge Suite に SSO ログインするタイミングで Knowledge Suite 側にアカウントを作成・更新することができます。

■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)

Exticにて Knowledge Suite とSSO 連携するための「シングルサインオン (SAML)」の設定を行います。
※Extic での設定手順や各パラメータの詳細は提供元の[エクスジェン・ネットワークス社](#)へお問い合わせください。


1. Extic の管理コンソールにログインします。




2. [アプリケーション] タブをクリックし、[使用可能] タブをクリックします。



3. 「シングルサインオン (SAML)」アプリケーションの [使用する] をクリックします。


Single Sign-on シングルサインオン (SAML)

表示名	必須	<input type="text" value="Knowledge Suite"/>	1						
ポータル URL		<input type="text" value="https://XXXXX.saml.gridy.jp"/>	2						
ポータル 表示名		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">日本語</td> <td>Knowledge Suite</td> </tr> <tr> <td>English</td> <td>Knowledge Suite</td> </tr> </table>	日本語	Knowledge Suite	English	Knowledge Suite	3		
日本語	Knowledge Suite								
English	Knowledge Suite								
カスタムロゴ		<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; text-align: center;"> ファイルを選択 (ここにドロップすることもできます) </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>							
SAML エンティティ ID	必須	<input type="text" value="https://XXXXX.saml.gridy.jp"/>	4						
SAML SP エンドポイント URL ?	必須	<input type="text" value="https://XXXXX.saml.gridy.jp/login"/>	5						
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: right;"> デフォルト以外の SAML SP エンドポイント URL + 追加する </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">Index</th> <th style="width: 50%;">URL</th> <th style="width: 20%; text-align: right;">編集/削除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td style="text-align: right;"> </td> </tr> </tbody> </table>				Index	URL	編集/削除			
Index	URL	編集/削除							
SAML NameID フォーマット		<input type="text" value="Unspecified"/>	6						
SAML NameID		<input type="text" value="メールアドレス"/>	7						
SAML Response 署名		<input type="text" value="レスポンス"/>	8						
SAML 認証フロー		<input type="text" value="SP 起点"/>	9						
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: right;"> SAML 属性 + SAML 属性を追加 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">Extic 項目名</th> <th style="width: 50%;">SAML 属性名</th> <th style="width: 20%; text-align: right;">編集/削除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td style="text-align: right;"> </td> </tr> </tbody> </table>				Extic 項目名	SAML 属性名	編集/削除			
Extic 項目名	SAML 属性名	編集/削除							
<input type="button" value="保存"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>							

4. ①～⑩まで設定し、[保存] をクリックします。

- ① 「Knowledge Suite」と入力します。(任意の表示名でも問題ありません)
- ② 「https://[サブドメイン]*.saml.gridy.jp/login」と入力します。
- ③ 「Knowledge Suite」と入力します。(任意の表示名でも問題ありません)
- ④ 「https://[サブドメイン]*.saml.gridy.jp」と入力します。
- ⑤ 「https://[サブドメイン]*.saml.gridy.jp/login」と入力します。
- ⑥ 「Unspecified」を選択します。
- ⑦ 「メールアドレス」を選択します。
- ⑧ 「レスポンス」を選択します。
- ⑨ 「SP 起点」を選択します。

*1 サブドメイン：②④⑤の[サブドメイン]は共通の文字列とし、任意の文字列を入力します。



5. [SAML IdP メタデータをダウンロードする] をクリックします。
ダウンロードしたメタデータに記載されている「X509Certificate」と「HTTP-POST」の情報を Knowledge Suite 側の SSO 設定時に利用します。

■ 3 SSO 設定 (Knowledge Suite)

Knowledge Suite にて、SSO の有効化、SSO 利用時の URL などを設定します。
本設定はアドミニストレーターからの操作となります。



1. Knowledge Suite にログインし、画面上部の [設定] をクリックします。



2. 「Knowledge Suite 設定」の「SSO 設定」をクリックします。

3. ①～⑧まで設定し、[設定保存] をクリックします。

- ① 「有効」にチェックを入れます。
- ② 通常ログインを可能とするユーザーを指定します。

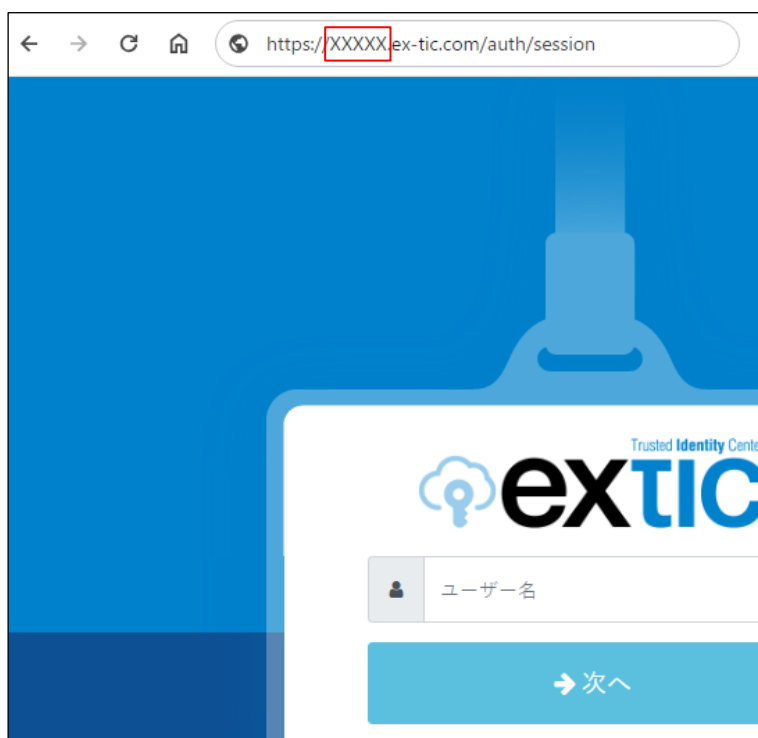
- ③ JIT 連携を利用する場合は「有効」、利用しない場合は「無効」にチェックを入れます。
 ※JIT 連携を利用すると Knowledge Suite への事前のアカウント登録が不要となり、初回 SSO ログインの際にアカウント情報を登録することが可能となります。
 JIT 連携につきまして、詳しくは「■6 JIT 連携について」をご参照ください。
- ④ 「■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)」の手順 4 で設定したサブドメインの値を入力します。
- ⑤ 「urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress」を選択します。
- ⑥ 「■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)」の手順 5 で取得したメタデータ (saml_meta_data.xml) 内に記載の HTTP-POST^{*2} の値を入力します。
- ⑦ 「https://[テナント名]^{*3}.ex-tic.com/auth/logout」と入力します。
- ⑧ Extic にてダウンロードしたメタデータ (saml_meta_data.xml) の証明書情報をもとに証明書ファイルを作成^{*4} し指定します。

***2HTTP-POST : メタデータ (saml_meta_data.xml) 内の以下の値 (「HTTP-POST」の値) です。**

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<EntityDescriptor
  xmlns="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata"
  xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"
  entityID="https://XXXXX.ex-tic.com/auth/saml2/XXXXX/assertions">
  <IDPSSODescriptor protocolSupportEnumeration="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:protocol">
  <KeyDescriptor use="signing">
  <ds:KeyInfo>
  <ds:X509Data>
  <ds:X509Certificate>
  MIIDUjCCAJocCQDr23pZR/Pr5jANBgzqhkiG9w0BAQsFAADBrMQswCOYDYQOGEwJK
  UDEOMAwGA1UECAwFVG9reW8xEzARBgNVBAcMCKNoaXlvZGeta3UxZzAvZAVBZNVBAoM
  (省略)
  qeFYGWKtcBQvt65HrwIzPtvDjWSFetWavrCgSC9Xif38UDvcON+PWidbvhpr+G6
  GchaKcojqpOztWKiVX5k5LjYak8TCLG0QE2hzyprRH884CcKohJw=
  </ds:X509Certificate>
  </ds:X509Data>
  </ds:KeyInfo>
  </KeyDescriptor>
  <SingleSignOnService Binding="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-Redirect" Location="https://XXXXX.ex-tic.com/auth/saml2/XXXXX/assertions"/>
  <SingleSignOnService Binding="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-POST" Location="https://XXXXX.ex-tic.com/auth/saml2/XXXXX/assertions"/>
  </IDPSSODescriptor>
  </EntityDescriptor>
  
```

***3 テナント名 : Extic の URL よりご確認いただけます。**



***4 証明書ファイル** : Extic よりダウンロードしたメタデータ (saml_meta_data.xml) 内の「X509Certificate」の値を元に以下サンプルのような証明書ファイルを作成します。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<EntityDescriptor
  xmlns="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata"
  xmlns:ds="http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#"
  entityID="https://XXXXX.ex-tic.com/auth/saml2/XXXXX/assertions">
  <IDPSSODescriptor protocolSupportEnumeration="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:protocol">
  <KeyDescriptor use="signing">
  <ds:KeyInfo>
  <ds:X509Data>
  <ds:X509Certificate>
  MIIDUjCCAjoCCQDr23pZR/Pr5jANBgkqhkiG9w0BAQsFAADBrMQswCQYDVQQGEwJK
  UDEOMAwGA1UECAwFVG9reW8xEzARBgNVBACmCkNoaXlvZGeta3UxZzAVBgNVBAoM
  (省略)
  qeFYGwKtcBQvt65Hrw1ZpTVwDJWSFetWavrCgSC3Xif38UDvcON+PWidbvhpr+G6
  GchaKcojqp0ztWKiVX5k5LjYak8TCLGQQE2hzypRH884CcKohJw=
  </ds:X509Certificate>
  </ds:X509Data>
  </ds:KeyInfo>
  </KeyDescriptor>
  <SingleSignOnService Binding="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-Redirect" Location="https://XXXXX.ex-tic.com/auth/saml2/XXXXX/assertions"/>
  <SingleSignOnService Binding="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-POST" Location="https://XXXXX.ex-tic.com/auth/saml2/XXXXX/assertions"/>
  </IDPSSODescriptor>
  </EntityDescriptor>
  
```

【サンプル】

```

-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIDUjCCAjoCCQDr23pZR/Pr5jANBgkqhkiG9w0BAQsFAADBrMQswCQYDVQQGEwJK
UDEOMAwGA1UECAwFVG9reW8xEzARBgNVBACmCkNoaXlvZGeta3UxZzAVBgNVBAoM
(省略)
qeFYGwKtcBQvt65Hrw1ZpTVwDJWSFetWavrCgSC3Xif38UDvcON+PWidbvhpr+G6
GchaKcojqp0ztWKiVX5k5LjYak8TCLGQQE2hzypRH884CcKohJw=
-----END CERTIFICATE-----
  
```

■ 4 Knowledge Suite との SSO 許可 (Extic)

Knowledge Suite との SSO 連携の許可をユーザーに割り当てます。

1. Extic の管理コンソールにログインします。
2. Knowledge Suite への SSO ログインを許可したいユーザーの編集画面を開きます。

ユーザー情報の編集

基本属性 拡張属性 アプリケーション

ユーザー名 ? testuser

パスワード ? 新しいパスワード

表示名 ? **必須** testuser

パスワード再発行用メールアドレス ? 例) example@example.com メール認証に連携

メールアドレス ? testuser@xxx.xxx.xxx

アカウント有効 ? 有効

3. 「メールアドレス」に Knowledge Suite のログイン ID を設定します。

POINT

メールアドレスの指定は他にも方法がございます。詳細は提供元の[エクスジェン・ネットワークス社](#)へお問い合わせください。

4. [アプリケーション] タブをクリックします。

Knowledge Suite 使用する

5. 「■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)」で設定したシングルサインオン (SAML) アプリケーションを「使用する」に変更します。

更新する キャンセル

6. [更新する] をクリックします。

■5 Knowledge Suite に SSO ログインする

各設定が完了したら Knowledge Suite に SSO ログインします。

なお、Knowledge Suite の SSO 設定で「JIT 連携の利用設定」を「無効」にしている場合、事前に Knowledge Suite へアカウントを登録する必要があります。

5-1 PC からのログイン

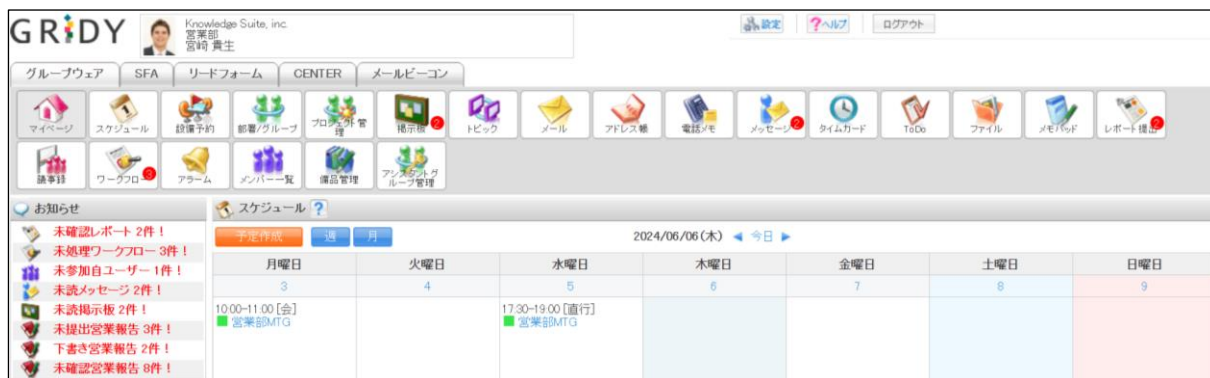
PC からのログインには、SSO 利用時の URL からログインする方法と、Extic からログインする方法があります。

■SSO 利用時の URL からログインする

1. 「■3 SSO 設定 (Knowledge Suite)」で設定した「SSO 利用時の URL」にアクセスします。



2. Extic のログイン画面が表示されるので、ログイン情報を入力しログインします。



3. Knowledge Suite のログイン後の画面が表示されます。

■Extic からログインする

1. Extic のログイン画面にアクセスします。

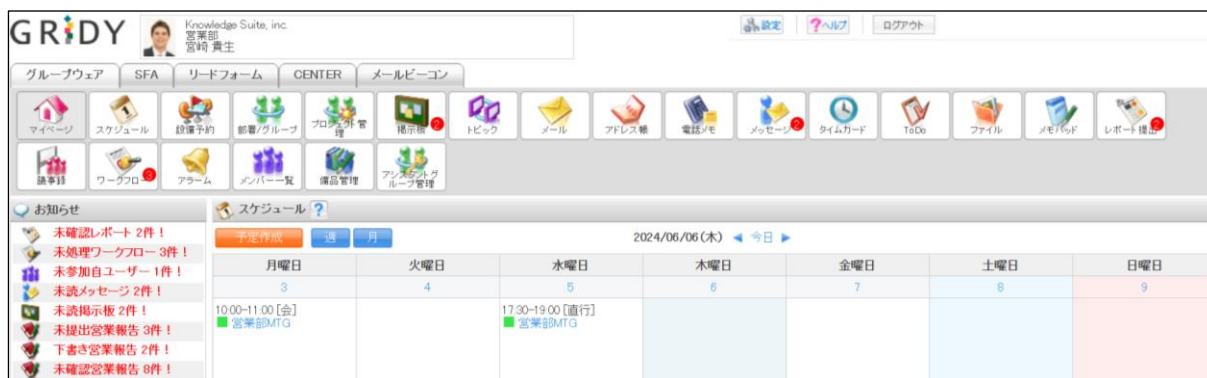


2. ログイン情報を入力しログインします。



3. ポータル画面の Knowledge Suite をクリックします。

※「■2 シングルサインオン(SAML)設定 (Extic)」の手順4での設定により表示名称等が異なる場合があります。



4. Knowledge Suite のログイン後の画面が表示されます。

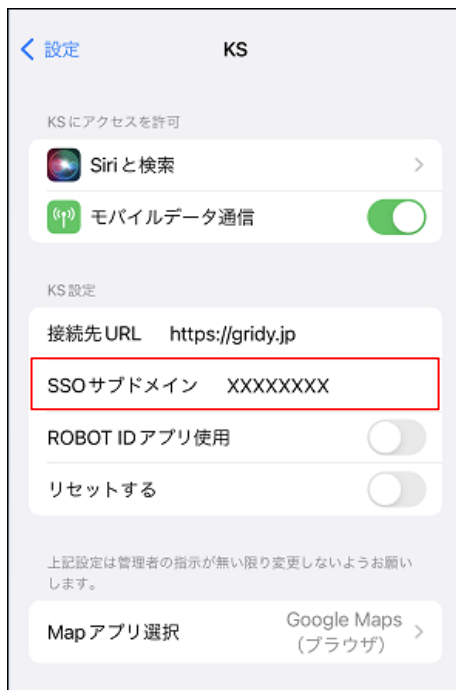
5-2 スマートフォンからのログイン

スマートフォンアプリで SSO ログインする場合に必要な初期設定およびご利用方法です。
※事前にご利用端末へアプリケーション「Knowledge Suite」をインストールしてください。

■ iPhone からログインする

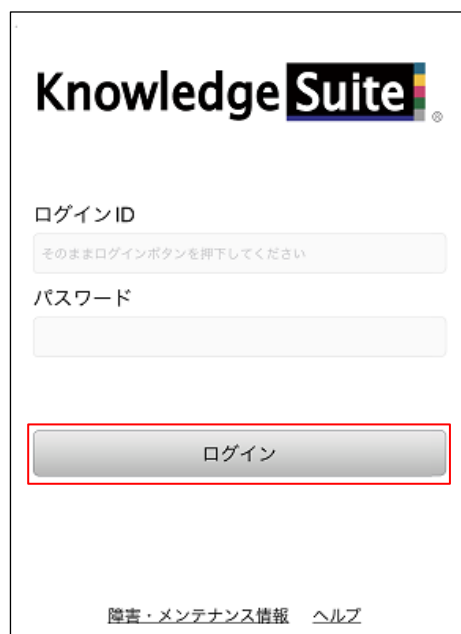


1. スマートフォンの「設定」より「KS」をタップします。



2. 「SSOサブドメイン」に、「■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)」で設定したサブドメインを入力し、設定画面を終了します。

※手順 1～2 は初回時のみ必要となります。



3. Knowledge Suite アプリを起動し、[ログイン] をタップします。

Extic × Knowledge Suite



4. Extic のログイン画面が表示されるので、ログイン情報を入力しログインします。



5. Knowledge Suite のログイン後の画面が表示されます。

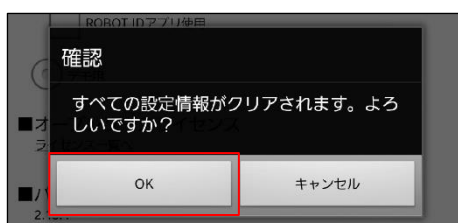
■Android からログインする



1. Knowledge Suite アプリを起動し、「設定」をタップします。

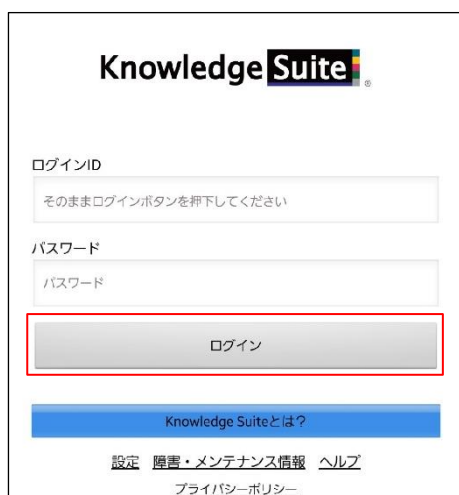


2. 「■モード設定」にて「SSO」を選択後、「■2 シングルサインオン (SAML) 設定 (Extic)」で設定したサブドメインを入力し、[設定]をタップします。



3. [OK] をタップします。

※手順 1～3 は初回時のみ必要となります。



4. Knowledge Suite アプリを起動し、[ログイン] をタップします。



5. Extic のログイン画面が表示されるので、ログイン情報を入力しログインします。



6. Knowledge Suite のログイン後の画面が表示されます。

■6 JIT 連携について

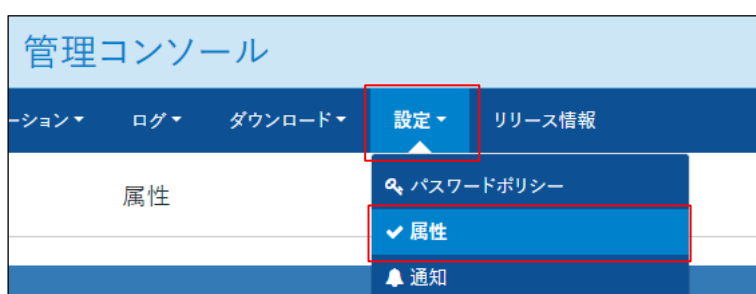
Knowledge Suite の SSO 設定で「JIT 連携の利用設定」を「有効」にしている場合、Extic に登録しているユーザー情報を Knowledge Suite に反映させることが可能となります。

設定可能な項目は Knowledge Suite のメンバーインポート機能にて設定可能な項目の一部です。詳細は操作マニュアル「GRIDY SSO (シングルサインオン) 操作マニュアル」の「JIT プロビジョニングを利用して連携可能な項目」を参照ください。

※以下の手順はサンプルとして記載しております。Extic での設定手順等の詳細は提供元の[エクスジェン・ネットワークス社](#)へお問い合わせください。

POINT

JIT 連携で使用する項目は、あらかじめ Extic の管理コンソールより「属性」の登録が必要です。

The image shows a screenshot of the '追加する属性の情報' (Add Attribute Information) form in the Extic management console. The form contains several input fields and a dropdown menu. The fields are: '属性名' (Attribute Name) with a required field indicator (必須) and the value 'KS_名前・姓'; '説明' (Description) with the placeholder text '説明を入力します'; 'タイプ' (Type) with a required field indicator (必須) and a dropdown menu showing 'テキストボックス'; '必須チェック' (Required Check) with a checkbox and the label 'しない'; and '入力禁止文字列' (Input Prohibited Characters) with the example value '例) root'. At the bottom of the form, there are two buttons: '+ 追加する' (Add) and '× キャンセル' (Cancel). Below the form, there is a '保存' (Save) button.

1. Extic の管理コンソールにログインします。























2. [アプリケーション] タブをクリックし、「■2 シングルサインオン(SAML)設定 (Extic)」にて Knowledge Suite 用に作成したアプリケーションの編集画面を開きます。



3. [SAML 属性を追加] をクリックします。



4. 「Extic 項目」にて Extic に登録済みの属性を選択し、「SAML 属性名」にて Knowledge Suite に JIT 連携する属性の属性名を入力して、[追加する] をクリックします。

SAML 属性		+ SAML 属性を追加
Extic 項目名	SAML 属性名	編集/削除
KS_名前・姓	last_name	 
KS_名前・名	first_name	 
KS_ふりがな・姓	last_kana	 
KS_ふりがな・名	first_kana	 
KS_社員ID	employee_id	 
KS_電話番号 (会社)	phone_number	 
KS_電話番号 (内線)	extension	 
KS_電話番号 (携帯電話)	cell_phone_number	 
KS_部署名 (表示用)	department	 
KS_役職 (表示用)	position	 

5. 「SAML 属性」に追加されます。

保存

キャンセル

6. [保存] をクリックします。

POINT

Knowledge SuiteにSSOログインすると、Exticに登録されている内容がKnowledge Suiteに反映されます。

<Extic>

✳ KS_名前・姓	テスト
✳ KS_名前・名	ユーザー
✳ KS_ふりがな・姓	てすと
✳ KS_ふりがな・名	ゆーざー
✳ KS_社員ID	12345
✳ KS_電話番号（会社）	12345
✳ KS_電話番号（内線）	12345
✳ KS_電話番号（携帯電話）	12345
✳ KS_部署名（表示用）	サポート部
✳ KS_役職（表示用）	リーダー

<Knowledge Suite>

Knowledge Suiteへようこそ！

ご利用にあたっての必要事項を入力してください。
入力後に「次へ」ボタンをクリックしてください。

企業/団体名 Knowledge Suite, Inc.

姓* テスト 30文字以内

名* ユーザー 30文字以内


姓(かな)* てすと 50文字以内

名(かな)* ゆーざー 50文字以内

・パスワードを新しく設定します。

パスワード* 半角英数字と記号、6以上32文字以内

パスワード確認* 半角英数字と記号、6以上32文字以内

GRIDY	 Knowledge Suite, Inc. サポート部 テスト ユーザー	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="ヘルプ"/> <input type="button" value="ログアウト"/>
<input type="button" value="グループウェア"/> <input type="button" value="SFA"/> <input type="button" value="リードフォーム"/> <input type="button" value="CENTER"/> <input type="button" value="メールビーコン"/>		